

『浄水処理における PFAS の除去等に関する研究 (Aqua-PFAS プロジェクト)』 の参加募集について

令和 6 年 6 月

公益財団法人水道技術研究センター

PFAS (PFOS 及び PFOA など) を巡っては、欧米等において飲料水 (水道水) の水質基準等の検討・設定とともに、それらに対応した浄水技術についての調査研究や浄水処理における PFAS 除去設備等の導入が行われるようになってきている。

一方、水道技術研究センターでは令和 4 年 9 月に「水道における PFAS の処理技術等に関する研究会」を設置し、PFAS の処理技術に焦点を置いて、国内の水道事業者及び水道用水供給事業者の参考となることを目的として、研究会における知見を取りまとめ、令和 5 年 11 月に「水道における PFAS の処理技術等に関する資料集」を取り纏めて公表したところである。

今後、水道事業者等による PFAS の水質検査の増加や水道水に対する PFAS の規制の動向等によっては、浄水処理プロセスにおいて PFAS 除去等を行い水質の安全性を確保することが必要となる事例が増加することが考えられる。

このため、水道原水において PFAS 除去設備の導入等を必要とするレベルの PFAS が検出された事業者における PFAS 対策を念頭に、産官学の体制で調査研究を実施するとともに、浄水処理において PFAS 除去等を必要とする事業者が参考にできる「(仮称) 浄水処理における PFAS 除去設備の導入及び維持管理等の手引き」といった形で成果を取り纏める予定である。

1. 公募概要

(1) 研究方針

国内における浄水処理による PFAS 除去技術等に関する情報は十分ではないことから、海外の先行事例を収集・整理するとともに、国内の水道事業者等における PFAS 対策の動向等を踏まえて、浄水処理における PFAS 除去設備の導入等の道筋を提案する。

産官学参加による調査研究として、浄水処理における PFAS 除去設備(浄水処理による PFAS の除去のみならず、残留物等の再生・処分までを対象)の導入・維持管理方法等について取り纏める。



※ 濃い着色項目を主軸とする

(注) 実証実験については高濃度 PFAS 含有水の入手・実験施設設置場所・処理水や処理に伴う残留物の処分方法といった課題があり、本研究内で対処が困難であることから行わない方針とする。

(2) 成果目標

以下に挙げる成果物の取りまとめを想定していますが、具体的には参加者で協議して決定します。

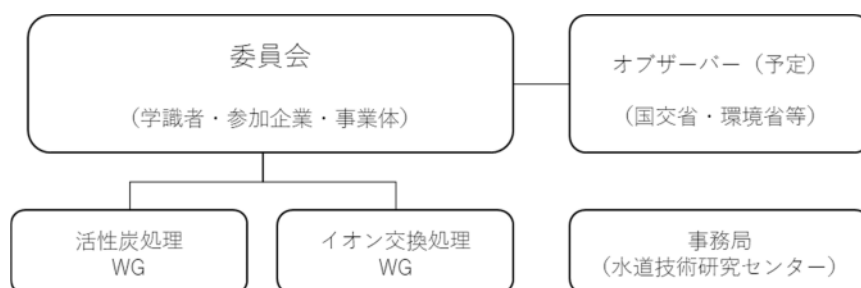
- ① 「(仮称) 浄水処理における PFAS 除去設備等の導入及び維持管理の手引き」の作成

※【総説・導入編・維持管理編】を想定

- ② ケーススタディ
- ③ 浄水処理における PFAS 挙動調査

(3) 実施体制

学識者、民間企業、水道事業者等及びオブザーバーの産官学での体制を予定しています。なお、事務局は水道技術研究センターに置きます。



2. プロジェクト実施期間 (予定)

令和6年度から令和8年度まで

3. 募集範囲

(1) 企業メンバーの募集範囲

・以下のいずれかに該当すること。

- ①国内の浄水施設において活性炭処理又はイオン交換処理に係る技術の納入実績のある企業
- ②浄水施設への導入を目的とした PFAS 除去等に関する技術開発を行っている企業
- ③水処理分野における PFAS 除去等技術に知見を有するコンサルタント

(2) 企業メンバーの参加資格

・以下の条件を全て満たすこと。

- ①PFAS 除去技術等(特に活性炭処理・イオン交換処理)に関する情報を提供できること。
- ②別途定める参加費用を期日までに支払うこと。
- ③東京都暴力団排除条例(平成23年3月東京都条例第54号)第2条第4号に規定する暴力団関係者でないこと。

(注) プロジェクト発足後の途中参加は受けません。

4. 活動内容（予定）

（1） 活動内容

主な活動内容としては、以下に示すとおりです。

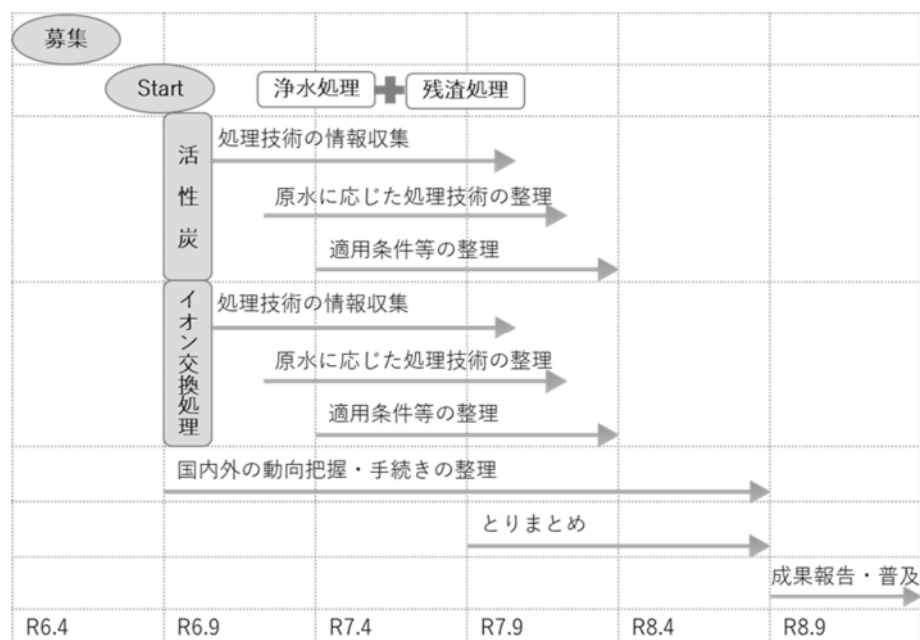
- ① 全体会議への出席（年3回程度、勉強会を含む）
- ② 事務局との打合せ会議（月1回程度、リモート可）
- ③ 水道施設での現地調査協力及び情報提供
- ④ 先行研究の文献調査及び手引書の作成
- ⑤ 報告会での発表

なお、全体会議への出席及び調査への参加以外は、先行研究の文献調査及び国内外の処理技術の整理が主となります。

また、やり取りは電子メールを基本とし、会議は東京会場又はリモートでの開催を原則とします。

（2） スケジュール

スケジュール（予定）は、下表に示すとおりです。



5. 費用負担

本プロジェクトの参加費は令和6年度～令和8年度の3か年とし、以下のとおりとします。なお、プロジェクト参加に係る交通費・宿泊費は参加者の負担とします。

(注) プロジェクトの開催場所は当センターを基本としますが、必要に応じて開催地を変更することがあります。

表 参加者区分と参加費（各年度、税込）	
参加者の区分	参加費
民間企業等（センター会員）	330,000円
民間企業等（センター非会員）	660,000円

※ コンサルタントは、上記金額の半額とします。

6. 応募方法

(1) 提出書類

別途ホームページに掲載している参加申込書に必要事項を記入後、メール・FAX・郵送等にて提出してください。

(2) 募集期限

令和6年7月16日（火）まで

7. 審査

参加申込書をもとに審査を行い、選考結果は後日、応募者に通知します。

8. 問い合わせ先

担当：（公財）水道技術研究センター 浄水技術部 内田、河淵、塩谷

住所：〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-28 K.I.S 飯田橋ビル7F

TEL：03-5805-0262

FAX：03-5805-0265

e-mail：aqua-pfas@jwrc-net.or.jp

※迷惑メール対策のため、@を全角にしています。半角に修正して送信してください。